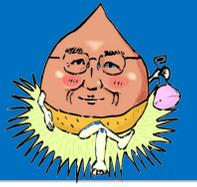
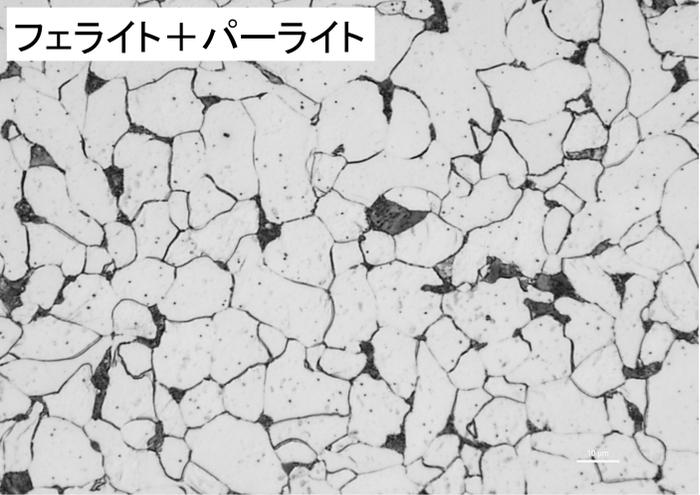
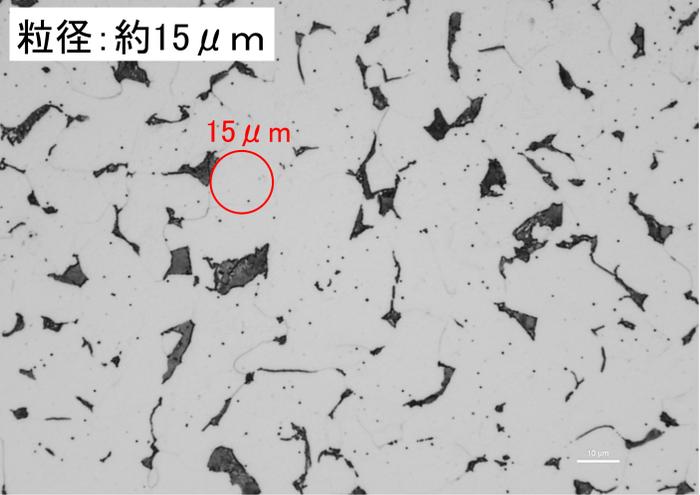
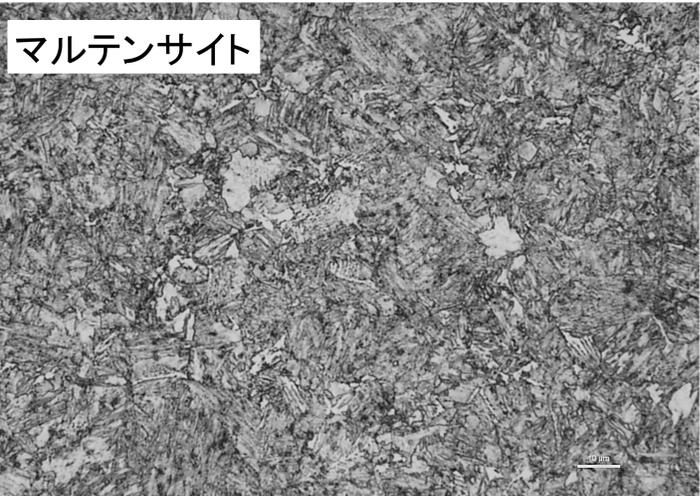
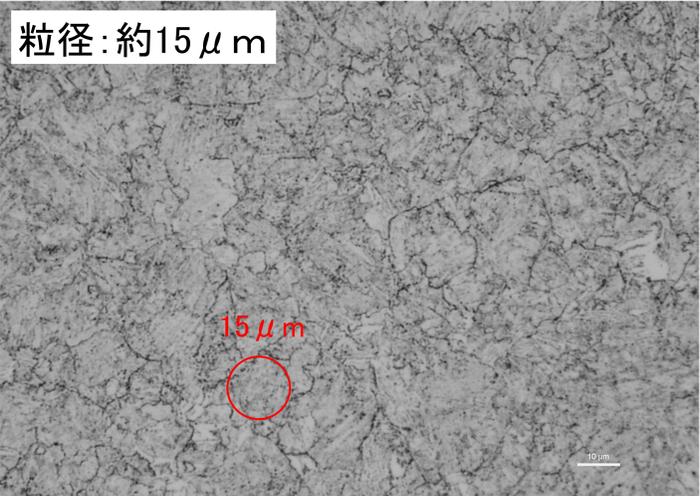
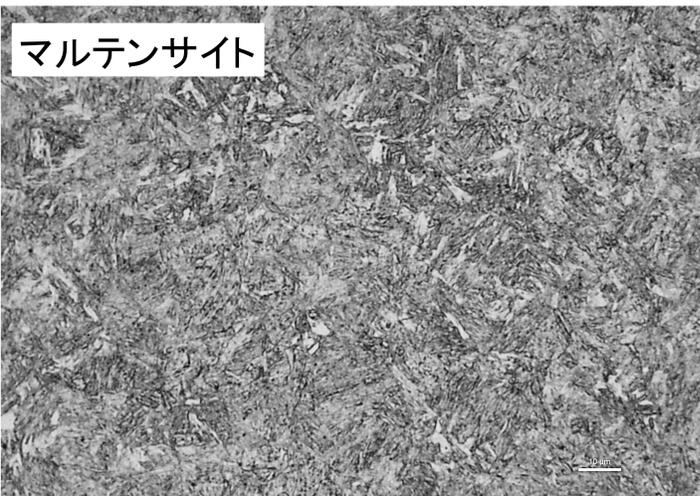
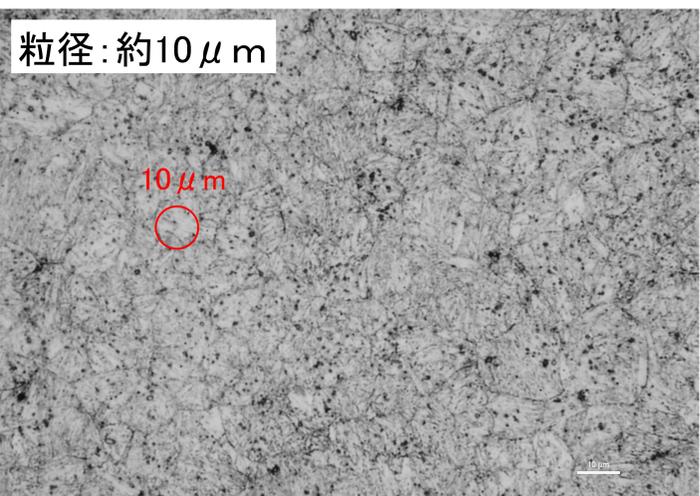


材料組織解析



材料が有する組織はその処理工程を反映し、また物性（機械強度など）の予測にも役立てることができます。このことから、材料の課題を改善するために組織解析を行うことが重要です。ここでは強度の異なる鉄系ボルト3種類の組織解析事例を紹介します。

	組織	結晶粒
<p>引張強度 400N/mm²</p> <p>(強度区分) 4.8</p>	<p>フェライト+パーライト</p> 	<p>粒径: 約15μm</p> 
<p>引張強度 800N/mm²</p> <p>(強度区分) 8.8</p>	<p>マルテンサイト</p> 	<p>粒径: 約15μm</p> 
<p>引張強度 1200N/mm²</p> <p>(強度区分) 12.9</p>	<p>マルテンサイト</p> 	<p>粒径: 約10μm</p> 

- ・組織の違いが機械強度に反映されています。
- ・形成組織の違いは熱処理工程および添加元素に基づくものと推定できます。

連絡先: 機器分析評価センター

(HP) <https://www.iac.ynu.ac.jp/>

(電話) 045-339-4406 (E-mail) iac@ynu.ac.jp

